

前進小学校での交流会



第9次ハルビン市訪問中学生研修団報告

壮大な中国の地で学んだ中学生

第9次ハルビン市訪問甘楽町中学生国際交流研修団15人が8月16日から23日まで、中国ハルビン市や北京市を訪問しました。中学生12人は、8月上旬に甘楽町を訪れたハルビン市の子どもたちと交流を図り、中国の歴史や文化、生活習慣などを肌で感じる貴重な体験をしました。団長・団員の感想を紹介します。(敬称略)

ハルビン市訪問を終えて

■ 団長 近藤秀夫(町教育長)

8月23日、団員全員元気に役場に到着し、団長の任を果たすことができました。研修を支えていただいた多くの関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

団員たちは、今年来町した研修団との再会、教育局長との懇談や夕食会などを通して、ハルビン市と甘楽町の友情の深さを実感することができました。

ハルビンと北京でのたくさんの体験が、個々の成長と町の国際交流の進展に大きな力となってくれると思います。

研修団員の感想

■ 飯塚真大(甘楽中2年)

中国の食や文化、歴史的な建造物など、日本には体験できないようなことをたくさん体験して、日本と中国の違いを学んでくることができました。

■ 山田日香梨(甘楽中2年)

中国では、どんな所に行っても人が多く、甘楽町との違いを感じられました。この経験で得られた国際感覚を、今後の生活にいかしていきたいです。



太陽島公園



↑ 2週間ぶりに感動の再会を果たした両市町の研修団員
← 中国の文化を知り、交流を深めた切り絵制作、笛演奏、凧作り

■ 近藤 慶(中央中等中2年)
この研修で、中国の歴史や文化、人々の暮らしを知ることができ、また、ハルビンの小中学生と交流を深め、人と人とのつながりの大切さを学びました。

■ 浦辺 惟愛(甘楽中1年)
中国と日本の食や文化の違いを体験することができました。また思いがけないことも多くありましたが、自分で考えて行動することができたと思います。

■ 大河原 楓太(甘楽中1年)
中国に行くと、現地の人たちがとても優しく接してくれたので、行く前の印象がとて変わりました。また中国に行く機会ができれば、ゆとり旅行したいです。

■ 小浦場 柚奈(甘楽中1年)
今回の経験で中国の歴史や文化などの日本との違いがわかりました。自分の足で歴史的な建造物などに触れられて良かったです。貴重な体験ができました。

■ 吉田 寛菜(甘楽中1年)
中国の食や文化はイメージと違い、おどろくことが多かったです。でも、研修団員と過ごした8日間は、とても楽しく勉強になりました。



↑ ハルビン市でのお別れ夕食会
← 代表してお礼の言葉を述べる飯塚さん

■ 松井 夢翔(甘楽中1年)

僕は中国で、世界の広さを実感しました。この貴重な体験は、生涯ずっと心に残り、僕の人生に役立つと思います。無事日本に帰れて良かったです。

■ 山本 一晴(甘楽中1年)

中国の人たちが甘楽町に来た時に友だちになった人と前進小学校で再会して、一緒に交流をしたことがとても楽しかったです。貴重な体験ができました。

■ 浦辺 陽生(甘楽中1年)

日本と中国の文化や習慣の違いを自分の目で見て感じる事ができました。日本ではできない貴重な体験もできたので、研修団に参加して良かったです。

■ 大野 蒼月(甘楽中1年)
中国の言葉、文化、食べ物すべてが初めての経験で、毎日がとても楽しく充実していました。案内してもらった名所などはどれも忘れられない思い出です。

■ 山内 琉我(甘楽中1年)
想像していたイメージと実際は違いました。とても過ごしやすかったです。中国で知りたいと思っていた歴史や文化を学べ、とても充実した研修でした。



万里の長城